

30年度分 事業所向け 放課後等デイサービス評価表

なかま

チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点
環境 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	・男女に分けて更衣室を作る、またプレートを作り、用途に分けて部屋を使えるように工夫している。 ・H31年4月より引っ越しする。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	0	
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	4	・軒下にスロープを作り、車椅子の方の対応をしている。階段等に手すり、滑り止めマットを置き、転倒の軽減をしている。 ・段差が多いので、マットを引いてうめたり、トイレに手すりを設置が必要。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	・毎日の朝礼、終礼等で確認、話し合いをして、共通理解を持ち、実行していた。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	・毎日の朝礼、終礼等で確認、話し合いをして、共通理解を持ち、実行していた。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	・外部の研修のお知らせなども知らせてくれるのでよい。 ・権利擁護、虐待研修などもあってよい。 ・外部講師の研修も毎年くり返されていて、数を重ねられているので、確認ができる。 ・新しい情報を聞けるのでよい。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	・モニタリングの資料などで、ニーズや状況は把握し、少しでも反映させているが、まだ足りていないところもある。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	4	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	・職員全員で確認し、内容衣を検討している。 ・担当や話し合い等で改善している。 ・準備等をもう少し早めにとりかかる。 ・いろんな活動を入れてきた。週1で定着していった方(自立活動)がよいものと、新しいもの(平日クッキング)と。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	・課題は、1人1人の疲れ具合などを見て、活動に促したりしている。 ・ボードや絵カードを使うなどして、支援をしている。 ・しかしまだ足りていない部分もある。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	・個別の対応をしてきたお子さんもいる。 ・集団活動と個別活動を組み合わせて、全体の計画を立てていた。 ・計画書には、必要な利用者にはくみ込んでいった。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	・子どもに合わせた支援をもっと綿密に確認していく必要がある。これから子どもの層が変わってくるので。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	・子どもに合わせた支援をもっと綿密に確認していく必要がある。これから子どもの層が変わってくるので。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	0	4	・検証できる資料までにはなっていない。 ・できるだけ記憶が鮮明なうちに、書いておくことが必要。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	0	

	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	・子どもの連絡帳から把握している。 ・下校時刻や行事等の把握は、予定表を直接学校(支援学校)に頂いてもよいように感じる。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	0	・医療的ケアのお子さんがいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4	・トラブルが多くなった時には、以前の状況の確認などを行っている。 ・また特徴が強いお子さんに関しても、現在の状況などの情報をもらったりしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	・外部の講師による、研修を実施している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	・小学部の職員が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	・面談などでの確認はできているが、まだ深めるところまではできていない。 ・まず日数を積み重ね、関係を深めるところから始める。
関係機関や保護者との連携	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	4	
	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	
	③⑪	保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	・満足いただける助言になっているかは、
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	・父母会があった時などは、子どもの預かりなど支援をしている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	・できるだけ迅速に対応するようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	・定期的に新聞、ホームページを出している。 ・ホームページの作成は、遅れることがある。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4	0	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	・連絡帳、電話などでしている。 ・視覚的にもわかりやすいスケジュール表を準備している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	・スプリングコンサートなど外部の方との活動も入っていたが、機会は少ない。 ・高校生や大学生のボランティアを受け入れている。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	
	③㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	

非常時の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	・今回は、拘束まで必要とするメンバーがいなかった。 ・車椅子の方は、腰ベルトをすることは“安全”の為と言うことで、計画書で確認している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	0	4	・今回は対象者がいなかった。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	